



つかさ会会員の皆様、こんにちは。

今月の会報では、まず御詫びからです。先月の会費請求の際に、20名ほどの1回の会費請求の方々に、あろうことか3回の請求文書を入れてしまいました。あってはいけないミスであり、大変に申し訳ございませんでした。事務局では過去にさかのぼり振込票をすべて再チェックいたしました（5年分ほどは保管してあります）。電話で問合せして頂いた方には、お手数をお掛けいたしました。また3年分振込んで頂いた方には、その対処の文書を同封させていただきました。

さて、今月号に同封した講演会の案内では、私たちの所属する「岐阜県糖尿病協会」の総会と講演会（6月8日）と、つかさ会の総会と講演会（5月11日）のご案内、および「出欠席の葉書」が同封してございます。今年の岐阜県糖尿病協会総会は大垣市の「奥の細道結びの地記念館」への入館もできるらしいです。担当の大垣市民病院のスタッフに準備を進めて頂いております。多くの方のご参加をお待ち申し上げます。



毎月郵送されてくる『さかえ』では、皆様はどこを読まれますか？

患者さんの目線から考えると、やはり他の人の実体験が一番参考になるのではないのでしょうか。今月号では“すてきな!?私生活(P28)”や“読者のひろば(P44)”では、投稿されている方の5人のうち3人が80歳以上で、なかにはインターネットで薬情報を勉強しますという方も…。素晴らしい事です。若い方の体験は“わたし+i生活(P49)”や新連載の“いいかげんに行こうぜ(P51)”に連載されています。体験談は時に医療スタッフからの情報以上のものがあると思います。そう考えると“インスリン生活 50年(P33)”で15人の方が表彰され、コメントが掲載されているのもとても参考になります。

糖尿病の正しい情報って考えると、“メディカルトピックス(P55)”の「糖尿病新薬ラッシュ」は如何でしょうか。新聞やインターネットでは夢の新薬みたいな情報が先行しているようですが、《慎重》に使用する必要があるのですね。正しい情報に目を向けたいものです。

その他にも“やさしいレシピ(P42)”でニンジン料理の紹介、“インターバル速歩のススメ(P24)”でストレッチの方法などの紹介も簡単に読めますのでお勧めです。

特集の“神経障害と糖尿病(P9)”は、難しい内容ですが無理でなければ一読してくださいね。全部覚える必要はありませんが…。

